

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 2月 26日

事業所名: 子ども発達支援ぽっぽ白鳩

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	10	2		・1人1.98㎡のスペースを配慮して、コーナーを作ったり机の置き方を考えて広く使えるようにしている。	68	1		7		
	2 職員の適切な配置	10	2		・多動児の数を考慮している。 ・休みの職員クラスにも適切に配置を行っている。	62	1	1	11		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	9	3		・部屋のスペースが十分あるので、出席人数を考えて有効に活用している。	65	1		9	・実際に見ているわけではないが、送迎時に見る限り、ゆったりした様子なのが見える。	・見学の方には実際に見ていただいています。室内は全部バリアフリーにしている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	12			・床・棚等、また手指消毒等アルコールで日々消毒が徹底している。	72			2		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	11	1		・計画に基づいて活動、反省や次へのステップの為、午前、午後ミーティングを行っている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施				・第三者による外部評価を活用したい。今後予定ではある。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7	5		・希望したら行くことができるように人数配置等の手配をしてもらっている。今年はコロナで研修の機会が少ない。 ・学びたい意欲はあるが、研修を受ける機会が少ない。パート職員も内部研修で行っている。						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	12			・利用計画に基づいて、療育・支援を行っている。	73		1	1	・支援のおかげで問題行動が減り、かんしゃくを起こす頻度も減り落ち着いて話ができるようになった。 ・課題の分析はきちんと方向性があり、どの段階かしっかりと親も自覚したい。 ・サインをするだけで、デイの様子や計画内容、モニタリングの説明がない。	・ニーズや課題をよりの確に捉え、保護者に再度伝達するよう改善したい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	12			・言語聴覚士・音楽療法士・体育指導員が、ホールにて計画的に指導を実施している。	72	1		1	・デイでの困りごとやこんな場面があったなど、具体的な様子が伝わってこないため、支援が妥当か判断できない。	・困り感、支援方法を伝える会やペアレントトレーニングを増やして保護者に理解して欲しい。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	12			・個別指導と集団活動・療育を直接適切に組み合わせ、計画を作成し実施している。						



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	11	1		・保育所等訪問を行い、共有した支援をしていく。						・保育所訪問を実施して、事業所で支援する方向を明確にするよう心がけている。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	11	1		・必要に応じて、対応している。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	7	4		・利用児が専門機関で検査等をしたら、保護者が結果や様子を伝えてくる。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	10	2		・児童クラブの子たちと公園で遊ぶ時、上手にとけこめるようサポートする。 ・運動会等行事を通しての活動で交流している。	54	6	2	11		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	5	7		・行事・収穫祭・運動会・参観など						
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	10	2		・担当者会・モニタリングで説明を行い、理解してもらおう。	71	2	1	1	・契約時に疑問点について全て回答があったので不安なく利用している。 ・計画内容について説明がない。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	11	1		・担当者会・モニタリングで説明を行い、理解してもらおう。	68	5	1				
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	11	1		・今年はコロナのため、会ができていなかったが、密を避けながら令和3年度3月に予定している。	54	9	1	10	・仕事で時間が合わず、保護者の会にも参加できずすみません。	・定期的に年3回ペアレントトレーニング、参観も行き、保護者会をしたい。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	12			・連絡帳や受け入れ時、口頭で話し合えている。	69	4	1	1	・帳面を中心のやり取りの中ですが、毎回活動内容を記載していただき助かっている。 ・好きな遊び、苦手な時の様子など家と同じ感じできちんとみて下さり有難い。	・保護者との連携の機会を増やし、信頼を深める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	12			・連絡帳や受け入れ時、口頭で話し合えている。	59	9	1	6	・毎日の連絡帳にも一つ一つアドバイスをもらい、すごく助かっています。 ・初めての利用日不安の中、屋敷様子を伝える電話をいただき嬉しかった。 ・気になることがあればノートに書いてくださいの言葉がホッとしました。	・保護者からの問いに、専門的な対応ができるよう、スキルアップを図り対応する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		10	2	・ペアレントトレーニングのみ。 ・今年度はコロナのため、会ができていないが、3月に予定している。	25	8	11	30	・現状のままでよい。	・今年度はコロナのため、会ができていないが、3月に予定している。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	11	1		・担任・管理者が適切に対応している。	45	6		23	・契約時に苦情対応について説明があった。	・丁寧な対応を心がけ、対応する。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	12			・その人に合った言葉で話せ、必要な場合には絵カードも利用。 ・できるようになったことを伝える、キズ等の報告。	66	4	1	3		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	12			・毎月ぽっぽ便りを作成、内容豊かに発信している。	67	1		6	・会報の写真が見つらいです。	・個人情報に注意を払いながら、見つらいかも知れませんが、保護者の目線に立った、よりよいものを発行していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	12			・個人ファイル等は専用の部屋に鍵をかけ保管している。	70			5		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	9	3		・各マニュアルを周知、話し合いを行っている。	51	7		15	・時期が時期なので、再度感染症対策等、書面で伝えて欲しい。	・口頭連絡やお便りで、わかりやすく安心できるように周知する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	12			・職員周知を毎月実施している。	49	2	1	22		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	9	3		・研修やミーティングで再度確認し、言葉態度なども虐待になることのない方針を研修している。						・虐待についての正しい認識を深め、定期的な話し合いを継続する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7	4	1	・身体拘束を行うことのない状況である場合も必要であるのか。						・やむを得ず身体拘束を行う場合、保護者に対して事前に十分な説明・了解を得たうえで支援計画に記載しておく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	12			・プラスでミーティング時などで周知ができています。						・保護者からの聞き取りだけでなく、医師の診断書もお預かりする。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	12			・毎朝の話し合いで、前日のヒヤリハット事例を確認、改善、意識統一を行っている。						・記載の内容を詳細に分かりやすくする。